

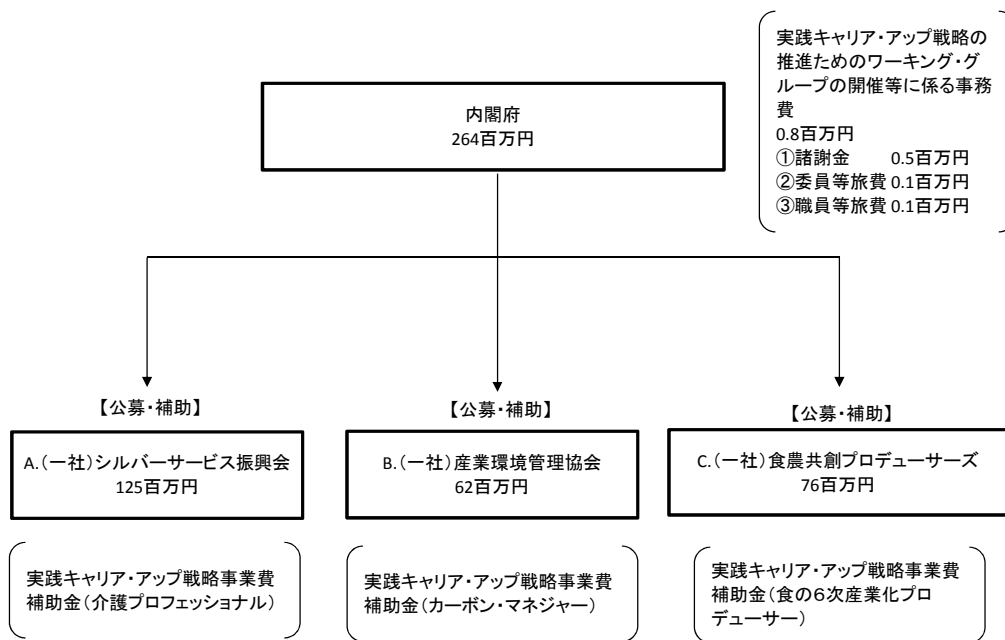
平成27年度行政事業レビューシート (内閣府)

<b>事業名</b>	実践キャリア・アップ戦略の実施に必要な経費			<b>担当部局庁</b>	政策統括官(経済財政運営担当)			<b>作成責任者</b>
<b>事業開始年度</b>	平成23年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成26年度	<b>担当課室</b>	参事官(企画担当) 参事官(産業・雇用担当)			坂田 進 須藤 治
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	内閣府設置法第4条第1項第3号及び第3項第2号			<b>関係する計画、通知等</b>	「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定) 「日本再生の基本戦略」(平成23年12月24日閣議決定) 「日本再生戦略」(平成24年7月31日閣議決定)等			
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	実践キャリア・アップ戦略を推進し、実践的な職業能力の評価・認定制度(キャリア段位制度)を構築することによって、成長分野における人材育成を進めるとともに、成長分野への労働移動を促進していくことを目的とする。対象業種として、「介護プロフェッショナル」「カーボンマネジャー」「食の6次産業化プロデューサー」を選定し、レベルの認定を行うこととしている。特に、実践的な職業能力に重点を置き、「わかる(知識)」と「できる(実践スキル)」の両面を評価している。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	実践キャリア・アップ戦略は、実践的な職業能力の評価・認定制度(キャリア段位制度)を構築するとともに、これに基づく育成プログラムの整備や労働移動の円滑な仕組みづくりを含めた、全体を一体的・豪壮的に整備・推進していく戦略。介護、省エネ・温室効果ガスの削減等、食の6次産業化の3分野について、実践的な職業能力の評価基準等を策定するとともに、事業実施機関を公募・選定し、平成24年秋から、育成プログラムの認証、レベル認定等の事業を開始した。 ※平成24年度は、主に復興特会で計上(平成24年度の予算額は一般会計と復興特会を合計した数字)。平成25・26年度は、一般会計で計上。							
<b>実施方法</b>	直接実施、補助、交付							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	594.1	347.6	275.2	-		
		前年度から繰越し	0.8	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	30.3		
		予備費等	-	-	-	-		
		計	594.9	347.6	244.9	30.3	0	
	執行額	409.4	340.5	234.4				
	執行率(%)	69%	98%	96%				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 26年度	
	レベル認定事業実施体制の整備及び制度の立ち上げ	同左	成果実績	分野	3	3	3	
			目標値	分野	3	3	3	
			達成度	%	100%	100%	100%	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	レベル認定事業実施機関の公募・選定	活動実績	機関	3	3	3		
		当初見込み	機関	3	3	3	-	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	レベル認定事業の実施に要した経費/レベル認定事業を実施する分野		単位当たりコスト 百万円	136.3	113.7	88	-	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	実践的な職業能力の評価基準の策定は、広くニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	制度普及までは経費と時間を要し、国による支援が必要であった。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	成長分野における人材育成・労働移動の促進を目的としており、優先度は高く、必要な事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業実施機関については、3分野ごとに公募し、外部有識者等で構成される選定評価委員会で審査・選定を行い、決定した。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	妥当である。	
	単当たりコスト等の水準は妥当か。		○	制度普及までの経費として妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の実施に当たり、真に必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	補助金の交付に当たっては、厳正に審査を行った。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	当初見込みどおり、3分野ごとにレベル認定事業実施体制を整備した。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業の実施に当たり、真に必要なものに限定しており、また、補助金の交付に当たっては、厳正に審査を行った。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	3分野ごとにレベル認定実施体制を整備した。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	3分野で整備した制度・システムを活用しながらレベル認定事業を実施した。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	平成23年度から26年度までは、制度の立ち上げ期間と位置づけ、内閣府より補助を行ってきた。民間団体による独立採算での実施に移行することを目指して調整を進めてきた結果、事業実施団体等との調整が完了したため、平成27年度以降は予算要求を行わない。			
	改善の方向性				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
<p>(平成24年度公開プロセス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業番号0028、0029 実践キャリアアップ戦略の推進に必要な経費</li> <li>○評価結果一廃止</li> <li>○取りまとめコメント一本事業については、既存の資格制度との関係の明確化、事業効果、効果設定を行う必要があるとの御意見があったことから、抜本的に再検討を行う。</li> <li>○平成25年度予算における反映状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・手数料収入分を補助金額から減額することとし、補助金額を4割以上削減。</li> <li>・現在の3分野(介護プロフェッショナル、カーボンマネジャー、食の6次産業化プロデューサー)に限定し、当面、3分野以外の方分野への拡大は行わない。</li> <li>・当面、被災地において重点的に実施。</li> <li>・公開プロセスにおいて指摘のあった点を踏まえ、各分野ごとに以下を実施。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 既存の資格との違いを明確化するとともに、既存の資格取得者に対する講習の免除等について検討</li> <li>② レベル認定者数の目標を定量的に設定</li> </ol> </li> </ul> </li> </ul> <p>27年度への繰越しは執行手続き上によるものであり、事業は26年度にて終了。</p>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	新2,復興6,2406	平成24年度	28,29,復興4
平成25年度	16	平成26年度	18		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(一社)シルバーサービス振興会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	人件費、事務局運営経費、キャリア段位制度関係費など	112			
システム設計・開発・維持費	システム設計・開発費、運用保守費など	13			
計		125	計		0
B.(一社)産業環境管理協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	人件費、事務局運営経費、キャリア段位制度関係費など	61			
システム設計・開発・維持費	システム設計・開発費、運用保守費など	1			
計		62	計		0
C.(一社)食農共創プロデューサーズ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	人件費、事務局運営経費、キャリア段位制度関係費など	76			
システム設計・開発・維持費	システム設計・開発費、運用保守費など	0			
計		76	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一社)シルバーサービス振興会	実践キャリア・アップ戦略事業(介護プロフェッショナル)	125	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一社)産業環境管理協会	実践キャリア・アップ戦略事業(カーボンマネジャー)	62	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一社)食農共創プロデューサーズ	実践キャリア・アップ戦略事業(食の6次産業化プロデューサー)	76	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					